

ンを提案するよりも、利用者や家族に迎合するケアマネが増えることが懸念されます。

ケアマネジャーの役割は、介護サービス利用のためのプラン作成にとどまらず、孤立を防ぐ、虐待を防止する、在宅介護の限界を見極めるなど多岐にわたります。定期的な訪問により、介護が必要な人の心身の状態を確かめ、ケアプランの見直しなどを提案する、在宅・施設を通じて介護保険サービス提供の根幹となるものです。この過程で、医療・福祉・地域の社会資源との連携が必須のソーシャルワーク機能を果たす介護保険にとどまらない視点を求められる業務なのです。

#### 4. 福祉用具の一部をレンタルから買い取りにするな

「単価の安い福祉用具」をレンタルから買い取りに変えることは、用具の正しい使い方指導、個人に合わせた用具の調整や定期的な点検が失われることにつながります。また、レンタルであれば状態の変化で適切な用具に変更できたものが、不適切になった用具を使い続ける、不要になった用具が自宅にしまい込まれるなど、資源の無駄遣いが発生します。

#### 5. 施設にロボットを導入して職員配置を減らすな

今回の改定には具体的に入っていませんが、AI や ICT の導入によって介護施設の職員配置基準を今の3対1から4対1にしようと、実証実験が始まっています。ロボット化を推進したからといって、配置基準を減らす理由にはならず、施設の人手不足に配置基準を緩和することで対応する奇策は許されません。現在でも離職率が高く人手不足に悩む施設介護の配置基準を減らせば、今以上に介護職員の負担を増し、介護の質の低下を招き、介護現場の労働破壊をもたらすでしょう。

この会では、WEB集会（4回、テーマ別）と国会集会を開催、その様子は終了後にもYouTubeで視聴することができます。以下の URL から入ることが可能です。複雑な改正案がよくわかる中身になっています。

アクション > 【10/20 更新】第2回 10/19 19:00-Youtube 同時配信！「史上最悪の介護保険改定を許さない！」ための連続行動に皆さんの参加を呼びかけます。一史上最悪の介護保険改定を許さない！会 — | ウィメンズアクションネットワーク Women's Action Network (wan.or.jp)

イラスト／村上千寿子



代表理事 小島美里